

鎌で稲刈り 四苦八苦

種池町 園児体験はさ掛けも

福井市の社中央第一、第二こども園の園児が18日、同市種池町で稲刈りとはさ掛けに挑戦した。青空の下で額の汗を拭いながら次々と収穫。「いっばいとれたよ」と友達や先生に自慢していた。コメを作る苦労を知ってもらおうと、毎年行っ

ている。両園の5歳児35人が、農家の中東栄さん(65)の田んぼの一角、約50平方メートルで体験した。

収穫した田んぼは園児が4月に手植えた場所。苗は60〜70センチほどの立派な稲に成長。園児は中東さんやJA福井市社支店の職員に教わりながら、数本の稲の根元を手でつかみ、鎌で丁寧刈り取った。

続いて束ねた稲を幅5センチほどのはさに順番に掛けていった。高い所になかなか手が届かず、精いっぱい背伸びして掛けている園児もいた。



丁寧にはさ掛けする園児ら＝18日、福井市種池町

成瀬航大ちゃんは「葉間ほどはさ掛けした後、しかったけど稲は硬くて 今度は脱穀を体験。来月刈り取るのは大変だった。試食会を開き、おにぎり」と話していた。2週にして食べる。(川上桂)